

2023年3月24日
フロンティア・マネジメント株式会社
代表取締役 大西 正一郎
代表取締役 松岡 真宏

2022年度 当社取締役会の実効性評価の実施結果の概要について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指しており、その実現には、取締役会の実効性を向上し、コーポレートガバナンスのより一層の実質化を図ることが必要と認識しています。2022年12月期における取締役会の実効性を評価し、さらなる実効性向上のために対応すべき課題を認識しましたので、その概要を以下のとおり開示します。

1. 実効性評価方法の概要

(1) 評価方法の決定

2022年11月開催の取締役会において、従前のアンケート方式（対象者がアンケートの各設問に対して自由記述をすることで評価する方法）の有効性が認識されたため、2022年12月期の取締役会の実効性評価については、アンケート方式を継続するとの結論に至りました。

(2) 評価対象者

全取締役（5名）及び全監査役（3名）

(3) 評価方法

- ① 2022年11月から同年12月にかけて、全取締役及び全監査役に対してアンケートを実施。
- ② 2023年2月開催の取締役会懇談会（全取締役及び全監査役が出席する会議）において、取締役会の実効性に関する意見交換を実施。
- ③ 2023年3月開催の取締役会において、取締役会懇談会の答申を踏まえて議論した後、2022年12月期の取締役会の実効性評価を確定。

(4) 評価項目

「2021年度 当社取締役会の実効性評価」により認識した課題を踏まえて、当社の取締役会の実効性を更に向上させるために、実施すべき事項を審議のうえ、設問を作成しました。2022年12月期アンケートの質問票の大項目は以下のとおりです。設問ごとに、10点で評価する方式としており、各設問に関する自由回答欄を設けています。

- ① 取締役、経営陣（執行役員等）に対する実効性のある監督について（5問＋自由回答）

- ② 人材の確保について（6問＋自由回答）
- ③ サステナビリティに係る取組について（3問＋自由回答）
- ④ その他、取締役会の機能について（2問＋自由回答）

2. 実効性評価結果の概要

(1) 取締役、経営陣（執行役員等）に対する実効性のある監督について

取締役会は、(i)経営戦略、経営計画、重要案件等について必要かつ十分な議論を行っている、(ii)取締役や経営陣（執行役員等）に対する監督機能の発揮に当たり、取締役会の構成・運営は適切である、(iii)内部統制やリスク管理体制を適切に構築し、取締役や経営陣（執行役員等）に対し実効性のある監督をしているといった肯定的な評価が得られました。

一方、監査役が取締役や経営陣（執行役員等）をより適切に監督するためには、専属の事務局の設置を検討すべき等の意見がありました。

(2) 人材の確保について

取締役会は、(i)人材の確保に必要な指名・報酬制度の適切な設計をしている、(ii)指名・報酬諮問委員会は、取締役や経営陣（執行役員等）の人材確保について適切に機能しているといった肯定的な評価が得られました。

一方、取締役や経営陣（執行役員等）の後継者計画については十分ではない等の意見がありました。

(3) サステナビリティに係る取組について

取締役会は、(i)サステナビリティに関する取組み（基本方針、マテリアリティ、推進体制等）について十分議論している、(ii)当社の持続的な成長に向けて、長期的戦略の議論をしているといった肯定的な評価が得られました。

(4) その他、取締役会の機能について

取締役会は、様々な知見、経験、専門性を持った役員陣を擁しており、様々な課題に専門家の視点から適切で建設的な議論がなされ、曖昧な状況で審議終了していないといった肯定的な意見がありました。

一方、取締役会の機能を更に向上させるために、経営戦略等のビジネス上の議論をさらに深化させる必要がある等の意見がありました。

3. 取締役会の実効性向上の取り組み

「2022年度 当社取締役会の実効性評価」により認識した課題を踏まえて、当社の取締役会の実効性を更に向上させるために、実施すべき事項を審議のうえ、2023年度の方針を決定します。

以上